

Japanese Association of Trombonists

# JAT NEWS

第 55 号

日本トロンボーン協会会報 2001.6 発行

事務局: 〒112-0013 東京都文京区音羽 1-20-14-5F プロアルテムジケ内 tel.03-3943-6677 fax.03-3943-6659  
郵便振込: 日本トロンボーン協会事務局 東京 9-175867

## Japan Brass Festival 2001

### 【ごあいさつ】

この度の「ジャパン・ブラス・フェスティバル2001」は日本の金管楽器の全協会が合同で行う初めての企画です。国内外アーティストによるコンサートの他、コンペティション、レクチャー及び楽器・楽譜・CDの展示など、7月20日～22日の3日間盛り沢山の内容で、プロ、アマチュア、また一般の方から学生まで楽しめるものです。この「ジャパン・ブラス・フェスティバル2001」が、多彩且つ内容の深い行事の展開により、若い世代を中心とした音楽文化の振興と啓発、国際交流が計れるものとなることをご願っています。

～ジャパン・ブラス・フェスティバル実行委員会一同～

2001年7月20日(金・祝) 10:30～20:30

21日(土) 9:30～20:30

22日(日) 9:00～18:00

\*受付開始: 開場各30分前

会場: 洗足学園大学

前田ホール/前田講堂/前田ホールロビー等

入場料: 3日券/6000円・協会員/4000円

1日券/3000円・協会員/2000円

\*このチケットで全てのコンサート/講演にフリーパスで  
ご入場頂けます。

\*当日協会に入会すれば協会員価格になります。

主催: ジャパン・ブラス・フェスティバル実行委員 日本  
トロンボーン協会 日本ホルン協会 日本トロンボーン協会  
日本ユーフォニアム・テューバ協会

後援: 川崎市/川崎市教育委員会/洗足学園/神奈川県吹  
奏楽連盟/日本吹奏楽学会/日本アマチュア・オーケスト  
ラ連盟/朝日新聞横浜支局/バイパス/バンドジャーナ  
ル

協賛: 河合楽器制作所/グランド楽器/グローバル/佼成  
出版社/工房アイルリッヒ/眞田貿易/下倉楽器/全音楽  
譜出版社/シエナ・ウインド・オーケストラ/セントラル

楽器/高橋建設/タク/東京佼成ウインドオーケストラ/  
トシ・トロンボーンアトリエ/トロンボーン・ラウンジ/  
ドルチェ楽器/トレンド/日本アマチュアブラスアンサン  
ブル組織/ネロ楽器/野中貿易/ホテル ジャパン志賀/  
ピーフラット・ミュージック/ピュッフェ・クランボン/  
BLAS-MUSIKアトリエ-モモ/プリマ楽器/ベストブラス  
/マウスピース工房タキザワ/山野楽器/ユーロ・インス  
ツルメンツ/ヤマハ/ヤマハミュージック・トレーディン  
グ/ラ・ボザウネ (敬称略/五十音順)

マネジメント・お問合せ: プロアルテムジケ

↓: E 間のメインコンサート

●街角コンサート/ロビーコンサート

●各楽器別マスタークラス

●初心者入門体験コース

●レクチャー

●ブラスコンペティション2001

●ブラス市場 (楽器・楽譜・CD他)

●マウスピース工房～マウスピース市場～

トシ・トロンボーンアトリエ/BLAS-MUSIKアトリエ-モ  
モ/ベストブラス/マウスピース工房タキザワ

フェスティバルスケジュール

7月20日(金・祝)

●10:30～12:00 Aリハーサル室/マスタークラス (公開  
レッスン) /講師: ロルフ・スメドヴィック(Trp.)

●12:20～12:40 前田ホールロビー/ランチタイムコン  
サート /浜松まつり風ラッパ

●12:40～13:00 前田ホールロビー/ランチタイムコン  
サート / Good-up Brass

●13:00～14:20 講堂/コンサート (提供: NABEO) /上  
野の森ブラス

●14:30～16:30 講堂/レクチャー No.1 / 講師: 小野  
ひとみ (STAT公認アレクサンダー・テクニク)  
「音楽家の為のアレクサンダー・テクニク」

●16:50～17:10 前田ホールロビー/ロビーコンサート/  
京都ファインアーツ・ブラス

- 17:10 ~ 17:30 前田ホールロビー / ロビーコンサート / Slide works
- 17:30 ~ 開演ファンファーレ・開会式演奏 / 浜松まつり風ラッパ ロルフスメドヴィック (Trp.・ソロ)
- 18:00 ~ 20:15 前田ホール / JBF2001 コンサート No.1 / ▼島田俊雄 / パロケットトランペットアンサンブル  
▼橋本ホルンクラブ (ハンティングホルン) 他  
▼パロケットトロンボーンアンサンブル ▼上野の森プラス  
▼四協会合同金管アンサンブル with R.スメドヴィック (Trp.) + 上野の森プラス + 山岸博 (Hrn.)

7月21日 (土)

- 9:30 ~ 17:00 講堂 / NABEO / NABEO フェスティバルコンサート (日本アマチュア brass アンサンブル組織)
- 10:30 ~ 12:00 A リハーサル室 / マスタークラス / 講師: ロジャー・ウェブスター (Cor.) B リハーサル室 / マスタークラス / 講師: ウィントトロンボーン四重奏団
- 12:00 ~ 12:20 前田ホールロビー / ランチタイムコンサート / 大阪 brass アンサンブル
- 12:20 ~ 12:40 前田ホールロビー / ランチタイムコンサート / 聖バレンタイン・プラスアンサンブル
- 12:40 ~ 13:00 前田ホールロビー / ランチタイムコンサート / ウィントトロンボーン四重奏団
- 13:30 ~ 15:00 A リハーサル室 / マスタークラス (公開レッスン) / 講師: 山岸博 (Hrn)
- 15:15 ~ 16:45 2202 教室 / レクチャー No.2 / 講師: 亀山敏昭 (トシ・トランペットアトリエ) 「あなたにとって良いマウスピース、悪いマウスピースとは？」
- 17:00 ~ 17:20 前田ホールロビー / ロビーコンサート / Fireworks Brass Ensemble
- 17:20 ~ 18:00 前田ホールロビー / ロビーコンサート / ニュータイト (国立音大ビッグバンド)
- 18:00 ~ 20:15 前田ホール / JBF2001 コンサート No.2 雀の宮コースバンド 絃内輝夫サクソルン属アンサンブル (Vivid Brass) 洗足学園プリティッシュブラス指揮: 大木孝雄 深石宗太郎 (Eup.) ゲスト: ロジャー・ウェブスター (Cor.) 外園洋一郎 (Eup.)

7月22日 (日)

- 9:00 ~ 13:00 講堂 / コンペティション / プラスコンペティション 2001
- 10:30 ~ 12:00 A リハーサル室 / マスタークラス (公開レッスン) / 講師: エリック・オビエ (Trp.)
- 12:30 ~ 12:50 前田ホールロビー / ランチタイムコンサート / アンサンブル・テルプシコーレ
- 12:50 ~ 13:10 前田ホールロビー / ランチタイムコンサート / CONN HORN QUARTET
- 13:10 ~ 13:50 前田ホールロビー / ランチタイムコンサート / VIVO (東京芸大ビッグバンド)
- 13:55 ~ 前田ホール / 開演ファンファーレ / 航空自衛隊中央音楽隊ファンファーレ隊
- 14:00 ~ 17:30 前田ホール / JBF2001 コンサート No.3

／航空自衛隊中央音楽隊ファンファーレ隊  
受賞者演奏 コンペティション受賞者 2 団体程度  
ブラスの融合

- No.1 トランペット & Bass トランペット
- No.2 Wagner Tuba (つの笛集団) & Bass Tuba
- No.3 Sop: トロンボーンから Bass トロンボーンまで  
ボザウネシュトラッセ

エリック・オビエ (Trp.・ソロ) 五十嵐一生コンボ  
(JAZZ) ビッグバンド エクスプレス (JAZZ) フェスティバル・オールスター・プラス with R. ウェブスター (Cor.) + CONN HORN QUARTET + 航空自衛隊中央音楽隊ファンファーレ隊 + E. オビエ (Trp.)

※内容等につきましては多少変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

### ★ブラスコンペティション 2001 応募要項

日時 7月22日 (日) 9:00 ~ 13:00  
部門 金管五重奏の部 (2Trp. Hrn. Trb. Tub. の編成に限ります)  
その他の重奏の部 (12 重奏までの編成。ただし同族楽器のアンサンブル、ピアノ、パーカッションを含む編成は除きます)

募集団体数 応募数が両部門で20 団体に達した時点で締め切ります。

参加料 一人あたり1000円 (参加料=1000円×人数)

その他にフェスティバルチケット料が必要となります。  
表彰 各部門で1位、2位、3位を決め、2部門含めて大賞1 団体に賞状並びに賞金20万円を贈呈します。それぞれの部門で1位、2位に川崎市長賞、川崎市教育委員会賞を贈呈します。その他の優秀な団体に副賞を贈呈します。表彰式と披露演奏 コンペティション、および結果発表終了後、フェスティバルのコンサートで表彰して披露演奏を行います。

曲目 金管5重奏部門

課題曲 マルコム・アーノルド作曲  
クインテットから第1楽章

自由曲 任意の楽曲 (10分程度)

その他の重奏部門

自由曲 任意の楽曲 (10分程度)

\*時間によりカットをする場合があります。

### ★応募の方法

代表者氏名、住所 (〒)、電話 / ファックス / e-mail アドレス、グループ名、参加部門 (金管五重奏の部・その他の重奏の部) 編成、自由曲目を記載の上、ジャパン・ブラス・フェスティバル事務局に郵便、ファックス、e-mail にてお申込み下さい。

ジャパン・ブラス・フェスティバル 2001 事務局

〒112-0013 東京都文京区音羽1-20-14-5 F

プロ アルテ ムジケ 内

TEL.03-3943-6677 / FAX.03-3943-6659

URL: <http://www.proarte.co.jp>

Email: [pam@proarte.co.jp](mailto:pam@proarte.co.jp)

2000年第17回日本管打楽器コンクール &  
第2回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会終了報告  
主催：財団法人 日本音楽教育文化振興会

第17回日本管打楽器コンクール

■場所・日程

パリオホール

●1次予選 11月13日(月)～14日(火) ●2次予選  
11月17日(金) ●本選 11月19日(日)

■トロンボーン部門審査員

永濱幸雄(委員長)、伊藤 清、白石直之、箱山芳樹、香  
山和雄、三輪純生、Michel Becquet

■表彰式・入賞者特別演奏会 於)文京シビックホール  
11月22日(水) 指揮：飯森範親/東京交響楽団

■参加者数 ()は棄権者数

1次予選134名(10) 2次予選18名 本選5名

■第1次予選通過者

トロンボーン部門(18名)

大馬 直人、轟木 敬、小野 隆洋、鎌田 聡、牧田 大助、  
菊池 公佑、平田 芳子、山口 尚人、千葉 真紀子、小坂  
達也、加藤 道明、井上 康一、笠川 由之、佐藤 洋樹、伊  
能 貴央、風早 宏隆、岡本 哲、鈴木 加奈子(出演順)

■本選結果

第1位/風早 宏隆(カゼハヤ ヒロタカ)京都市立芸術大  
学音楽学部4年在学

第2位/岡本 哲(オカモト テツ)相愛大学卒業(財)広島  
交響楽団員

第3位/山口 尚人(ヤマグチ ヒサト)東京芸術大学音楽  
学部卒業(財)東京シティフィルハーモニック管弦楽団員

第4位/佐藤 洋樹(サトウ ヒロキ)東京芸術大学音楽学  
部卒業

第5位/井上 康一(イノウエ コウイチ)桐朋学園大学音  
楽学部4年在学

第2回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会

■日時2001年3月18日(日)

■場所 パリオホール

トロンボーン部門(小・中学生コース)

金賞 古田 裕史 宇都宮市立城山中学校3年生 銀賞 熊谷  
愛美 狭山市立東中学校2年生 銅賞 塩川 乃梨子 久喜  
市立久喜東中学校3年生

トロンボーン部門(高校生コース)

金賞 片野坂 りさ 神村学園高等部3年生 銀賞 福原 恭  
平 県立岩国工業高校3年生 銅賞 小椋 亮介 都立足立  
高校2年生 銅賞 松永 味加子 都立日野台高校2年生

トロンボーン部門(大学・一般コース)

第1位 清水 真弓 慶応義塾大学1年生 第2位 出川 裕  
崇 大阪教育大学1年生 第3位該当なし

第5回トロンボーン懇親会に参加して

今回はじめて、3月25日に太田区民プラザで開かれた懇  
親会に参加させて貰いました。私は、Tbを吹きはじめて  
から、ずっと岐阜の田舎の中で活動してきましたが、昨年  
Tb協会に入会以降どンドン都会に出て行こうと思ってい  
ました。「井の中の蛙、大海を知らず」ってのは絶対いけ  
ないと思ったからです。懇親会に行って感じたのは、ドイ  
ツ管を吹いている方が意外に多かった、それにオケをやっ  
てみえる方が多いと思いました。田舎にはアマオケ少な  
く、Tbを吹く場としては、圧倒的にウィンドが多い。東  
京には、たくさんアマオケがあるとは聞いていました  
が、本当に多くの団体から、皆さん参加されていました  
ね。私もオケで活動したいのですが、機会がなくて、オケ  
とウィンドの両方で活動してみえる方などは、羨ましいか

ぎりです。今回の懇親会の1番の楽しみは、プロの方々と  
お会いすることでした。雑誌やCDでしか、見たことのない人、  
聞いたことのない音。それらに接することができ  
て、感動、感動の連続でした。箱山さんの「オーバー・  
ザ・レインボー」、村上さんの「生の低音」(あたりまえ  
か)、郡さんの「函館の女」、などなど、勉強になったり、  
笑えたり(?)、楽しいひとときでした。それから、何人  
かの方と知り合うことができ、普段の生活の中で交流がも  
てるようにもなりました。最後にみんなで演奏した、村田  
さんの四重奏曲も素敵でした。次回の懇親会はもっと多く  
の方と、楽しい時間を過ごしたいものです。また、遠行軍  
で田舎から参加します。本当にありがとうございました。

黒岩亮宏(会員番号K-144)

(所属：K.T.ウィンドオーケストラ団長兼首席Tb奏者  
可児トロンボーン四重奏団メンバー)

# 100人のトロンボーンコンサート2001

ジャック・ヘイズ氏によるファンファーレ完成!

この度日本の第一線で活躍するジャズおよびクラシックのトロンボーンのプロ奏者100人が集い、海外からのゲストを迎えてコンサートを開催する運びとなりました。

そのゲストとはハリウッドの映画音楽の世界で40余年の長きに渡り活躍されてきた方々で、一人はスタン・ケントン楽団を経てネルソン・リドル楽団のフィーチャリングアーティストとしてフランク・シナトラのレコードやコンサートには必ずと言って良いほど参加し、世界の音楽ファンから「ミスター・ベストトロンボーン」と尊敬を集めているジョージ・ロバーツ氏、二人目は19歳の頃からプロとして「ウエストサイド物語」を始めとする映画の録音を中心にヘンリー・マンシーニ楽団、パーシー・フェイス楽団のソリストとして、アメリカポップス界の第一線に君臨してきたロイド・エリオット氏、三人目はスタン・ケントン楽団のトロンボーン奏者を経て1950年代から作曲家としてハリウッドで活躍しグラミー賞の受賞歴もあるハリリー・ベッツ氏です。

彼等の芸術性高い音楽は、彼等をして音楽界のダイヤモンドと言っても過言ではありません。日本風に表現をするならば人間国宝と言うべき存在でしょう。彼等の名前は一般には知られていなくても全世界の人々は知らず知らずのうちに彼等の音を耳にし親しんでいるのです。

彼等を迎えての同様の企画によるコンサートを1997年に開催しましたところ、大変な反響を呼びアメリカのトロンボーン奏者の間でも話題にのぼっていました。又、コン

サートのお客様からも出演者からもとても感動したと言う御言葉をいただき、再演をとの要望がコンサート終了直後から強くありました。それらの要望に押され、ついに第二回目を開催する事となりました。

今回はクラシックにもバリ・オペラ座管弦楽団首席奏者を経て、現在リヨン高等音楽院、ケルン音楽大学で教鞭を揮う傍ら国際的ソリストとして活躍するミッシェル・ベッケ氏をゲストとして迎えます。

その他 ロイド・エリオット氏の友人でヘンリー・マンシーニやヴィクター・ヤングと共に仕事をし、ほとんどのハリウッド映画に関わってきたオーケストレイター、ジャック・ヘイズ氏が是非このコンサートに曲を書きたいと言う事で大きなファンファーレを作曲してくださいました。

ヘイズ氏が作曲を申し出て下さったのも日本のプロ100人によるトロンボーンオーケストラの演奏の質の高さに惚れ込んだためで、豪華なゲスト陣もさることながら、演奏会やテレビで日頃見かける交響楽団やビッグバンドその他の有名演奏家達が東京文化会館大ホールに会すのですから、トロンボーンファンのみならず一般の音楽ファンの方々にとっても応えられない企画であり、前回にも増して魅力あるコンサートになる事は間違いないと確信します。

100人のトロンボーンコンサート 実行委員会  
代表 村上準一郎

▼開催日：平成13年11月19日(月) 18:30開演 ▼場所：東京文化会館 大ホール ▼主催：100人のトロンボーン実行委員会 ▼後援：日本吹奏楽連盟、日本トロンボーン協会、アメリカ大使館(予定) フランス大使館(予定) ▼マネージメント：プロアルテムジケ

## ▼プログラム：

トウキョウ・トロンボーン・トリビュート/ジャック・ヘイズ作曲  
「クリチバ」独奏とトロンボーン16重奏のための(2001)(日本初演)/ジャン・ミッシェル・デュファイ作曲  
ブルー・ロンド・ア・ラ・ターク/デイヴ・ブルーベック作曲/ハリリー・ベッツ編曲  
ウエストサイド物語/レナード・バーンスタイン作曲/ハリリー・ベッツ編曲

※その他のプログラムはベッツ氏らと打ち合わせ中

▼出演予定者：箱山芳樹(日本フィル交響楽団) 井上順平、古賀慎治(東京都交響楽団)、市村信持(群馬交響楽団) 荻野昇(東京交響楽団)、近藤孝司(大阪センチュリー交響楽団) 門脇賢智志(新日本フィル交響楽団)、和田美亀雄(弘前大学助教授) 萩谷克己(校正ウィンドオーケストラ)、新井英治(ジャズ奏者) 向井滋春(ジャズソリスト)、鍵和田道男(ジャズ奏者) 花坂義孝(上野の森金管五重奏団)、フレッド・シモンズ(フリー) 佐藤俊次、堂本雅樹(原信夫とシャープス&フラッツ) ビリー・ロビンソン(スカイラインカレッジ講師/サンフランシスコ) 村上準一郎(ビッグバンドエクスプレス)・・・他 総勢100名この他にピアノ、ドラム、ベース、ギター、パーカッション(2名)

# チェコ・プラハ トロンボーン留学あれこれ

## ●ナゾの金管大国 チェコ

日本のみなさまこんには。私は現在、チェコ共和国の首都プラハにある、プラハ芸術アカデミーでトロンボーン勉強をしています。

チェコときいて「は？なんでチェコなの？？」と、げんな顔をされる方も多いのですが、何をかくそうこは、知人ぞ知るおそろべき金管大国なのであります。

おそらくホルンのティルシャル兄弟（ペドジフ&ズデニェク）、トランペットのミロスラフ・ケイマルなどは、すでに日本でも多くの人に知られるところでありましょう。若い世代でも、ホルンではオンドジエイ・ヴラベツ（チェコ・フィル首席、21歳）、ソリストとしても世界中で大活躍のラデック・パボラーク（アフラトゥス木管5重奏団、25歳）、トランペットではケイマルと肩を並べる新鋭ヤロスラフ・ハリージュ（チェコ・フィル首席、25歳）などがあげられます。

## ●私の師匠 脂さん

さて、こんなにちいさな国でありながら、こんなにも世界トップクラスの奏者を輩出し続けるチェコを、私は非常にアヤシイと思いました。これならトロンボーンも、すごいヤツがいるに違いない、と。

とはいっても、ここに来る前の私もチェコのトロンボーンについては、何も知らないに近い状態でした。

それに動機が不純でした。たまたま旅行で立ち寄ったプラハの街の、おとぎの国のような不思議な空間に魅せられ、「ぜひここに住みたい！！」と決めた私は、憑かれたようにチェコ語を勉強し、根性でプラハの音楽学校を調べ上げ、そうして素晴らしい師匠に出逢うことになったのでした。

師匠の名前はイジー・スツッキー（自称：脂さん、44歳）。13年間プラハの国民劇場で、そして'92年からプラハ・フィルハーモニーで現在も活躍中のバストロンボーン奏者であります。いつも冗談ばかり言って笑いが絶えず、限りなく人を大切にその素晴らしい人柄もさることながら、クオリティの高い、深く心に響く演奏をする、類まれなる人です。アヤシイ日本語もしゃべります。（私が教えちゃいました）

彼の音はもう、口では表現しきれないほど美しく、美しく、美しい！！！！こんな音が出せる人がいるなんて、本当にショックでした。はっきりいって、今までに聴いた

数々の名手といわれる世界のトロンボーン吹き演奏が、すっかりかすんでしまうほどでした。

とりわけそのレガートが、すごい。中学のときに、トロンボーンを始めたばかりの私はウキウキで音楽辞典で“トロンボーン”を引いたら、楽器の特性に「構造上、完全なレガートを奏するのが不可能な楽器」とあり、ふ～ん、そうなんだー、と長らく漠然と思ってましたが、脂さんの演奏を聴いて、これは違うぞ、ということに気がつきました。「構造上、完全なレガートを奏するのはおそろしく困難だが、それをマスターしたときはこの世のものとは思えないほど美しい音が出せる楽器」と、訂正すべきでしょう。

## ●すごいぞ チェコ！ すごいぞ ヨーロッパ！！

こちらに来て次にビビったのは、学生もうまい！！！！うまいだけでなく、超難しい曲をいつまででも吹き続けられるその体力がハンパじゃないです。レッスンに持ってくる曲も、小品や現代曲の他にコンチエルトなんかも2～3曲あったり、今通したのにもう一回アタマからやっちゃったり、いったいどういう体してんだろうと思います。レガートもピアノ極重ねたようなデカイ運中ばかりで、女トロンボーン吹きはプラハで私ひとりです。

もうひとつビビったのは、子供が楽器を始めるシステムです。

日本におけるたいの管楽器吹きはその楽器を始めるとき、学校にあるクラブなどに入り、こわくてわけわかんない先輩におちゃくちやな方法で教えてもらい、あとは自分でつかんでいくか、そのうち欲が出てきて、プロの人にも習ってみようかな、という感じだと思います。ラッキーなお金持ちのクラブはときどきプロの奏者を呼んだりするけど、まさに今初めて楽器を口に当てるぞ、というときにプロがそばにいたりするなんてことは非常にまれだと思います。

ところがチェコでは（他のヨーロッパ諸国も似たような感じらしいのですが）、楽器を始めるほとんどの子供が“子供のための芸術学校”なところでプロの手ほどきを受け、しっかりとメソッドをもとに基礎からちゃんと教わるそうです。（しかも、どこのショボい田舎の町にもある！）そして興味を持った子や上手な子は次の音楽教育機関である高等音楽院に進み（日本の高校生にあたる時期、コンセルヴァトアールと呼ばれる）、そこでさらに優秀だとアカデミーへ入る、という仕掛けになっているのです。

これはかなりのカルチャーショックでした。今すぐに日本の現状を変えるのはとても難しいことですが、「外人は

うめなー」と指をくわえて眺めるだけでなく、こういう事実を知り、見習うべきものは小さなことからでも取り入れていこうとする意識改革が必要だと思います。すでに日本では早期教育が大切とかいって、ピアノやバイオリンのシステムはありますが、はじめが肝心なのは、管楽器も一緒に気がします。

もうひとつ興味深いシステムで、チェコでなくフィンランドのシベリウス・アカデミーのはなしですが、授業のひとつとして、学生がその学年やレベルによって何人かの初心者とアマチュアの生徒を教えることが義務づけられていて、しかもちゃんと学校が斡旋していて、単位だけでなく月謝までもらえちゃうそうです。これはいい！と思いました。アルバイトになるだけでなく、まったくの初心者の生徒を持つことで、楽器を吹くメカニズムを考えるようになるし、生徒は生徒で、安く音大生に習えるという利点があります。うーん、一石二鳥どころじゃないですね。

とまあ、私の知ったヨーロッパをべた褒めしちゃいましたが、ぜひこれからの日本の音楽界をよりよくするために、いいところはどんどん取り入れられたらいいと思います。これを知って目からウロコが落ちた方、一緒に日本を変えていきませんか？

#### ● 鮎さんにインタビュー

話がちょっとトロンボーンから、かなりグローバルなことになっちゃったので、ここで私の師匠のスシさんに登場してもらって、チェコのトロンボーンの特徴についてと、鮎さんの思うところを語っていただくことにします。ここからは先は鮎さんのことばです。

こんばんわっ！わたしは鮎さんでーす。げんきですか～？（ここは日本語で言っていました・石森）

チェコのトロンボーンの特徴はなんといってもその柔らかい音色とその音の出だし、それに舌を使わないレガート奏法にあります。

音色はまず、硬い、いかにも金属のような音は忘れて、やわらかく～包み込むような広い広い音を目指しています。まるで男性歌手の声のようにあたたかく、心に染み入るような音です。残念なことに現在世界的に、金管楽器の音色を強く硬く演奏する傾向にあります。しかし、はた

してマーラーやドヴォルジャークが、そのような音を求めたでしょうか？ 答えはノー！！です。f f やアクセントは、決して硬く金属的な音を求めているのではないのです！！

確かにオーケストラの編成も、時代を重ねるごとにどんどん大きくなり、そしてコンサート・ホールもまた、その多目的な理由から、音響を無視して巨大化しているのが現状です。だからといって、耳をつんざくような音を、その曲を書いた作曲家たちがイメージしていたでしょうか？ パワフルな音は、強く硬い音とイコールではないことに、どうか目を向けてほしいと思っています。

音の出はppもffも、舌はほんのすこし使うものの、きついアタックの聞こえない、歌手やオルガンの音の出とまったく同じものが美しいと思います。ベートーヴェンの交響曲第9番のバストロンボーンのソロも、そういうイメージで吹いています。なぜなら合唱と一体にならないからではないからです。



レガートについては、これはとっても大変な仕事です。チェコで受け継がれてきたトロンボーンの伝統的なレガートは、3つの方法に分けて考えます。  
1 アンブシュアによるレガート。いわゆる倍音間のレガート。例えば1ポジションでB→F、オクターブなど。

2 スライドによるレガート。同じ音列間でのレガート。F→E→E s など。

3 1と3の組み合わせによる、ミックス・レガート。例えば1ポジションのF→2ポジションのA、5ポジションのF i s→2ポジションのE など。

そしてこれらを舌を使わずに、息の微妙な圧力の変化と、アンブシュアと右手（とロータリーを使う時は左手も）の速度とタイミングで奏するレガートです。これをマスターするのは、ものすごく根気のいる、そして時間のかかる作業です。しかし悲しいことに、チェコでも、このレガートを完全に実践している人間は、おそらく私一人だと思います。世界的にもアメリカやフランスにおける、舌を軽くつく（D a や L a のような）ものが主流です。なぜならそれは、ラクだからです。なんとなくレガートに聞こえてしまうからです。そしてチェコ式レガートは、本当に難しいからです。（注：速いパッセージのものはさすがに追いつかないので、軽く舌を使いますが）

しかし困難ではありますが、それをマスターすると、本当に歌手のレガートが得られるのです!!! そしてこれほど美しいレガートを演奏するには、他の方法ではまず不可能なのです。

このレガートをマスターするための良い教則本がチェコにありますので、ぜひ紹介させていただきます。ヤロスラフ・ウジャーク氏(1891-1965)の“スライド・トロンボーンのためのシュコラ(チェコ語で「学校」の意)1巻、2巻”で、スラフォンから出版されています。この教則本には、チェコのレガートの練習方法が特に細かくアナリーゼされ、とても詳しく書かれてあります。ウジャーク氏は私の師匠ミロスラフ・ヘイダ氏の師匠で、彼の残したトロンボーン業績はものすごいものです。ヨーロッパ各国各種のトロンボーンの世界史について記述した1000ページにもおよぶ論文や、それらのトロンボーンのマカニズム、そして練習方法を細かく記した論文とエチュードなど、その莫大な量にもかかわらず質の高い考察と的確な指摘は、現在の私たちが読んで目からウロコのものばかりです。残念なのは、当時の時代背景と時間の不足のために、出版されたものは少しの教則本のみで、残る手書きの論文たちはすべて私の自宅に保管されています。これらは私が今、生徒に教えるのに大変役立っています。

私が確信しているのは、このようなレガート奏法は決してチェコだけで起こった特別のものではなく、もともと古い時代はこうして演奏されていたに違いないということです。なぜなら、そのころのトロンボーンは、教会で歌やオルガンと一緒に神様の声を奏でるための楽器だったからです。こんなに美しい歴史ある楽器で、どうして粗野な音が出せるでしょうか。

最後に、トロンボーンを演奏するにあたって身につけるレガートやその他のテクニックの本当の目的について、お話しします。

それは、私たちの心を音楽で人に伝える、ということなのです。

そもそも音楽が生まれたのは、人間が心を持っているからです。世界中どこを探しても、音楽のない地はありません。うれしいことや楽しいこと、悲しいことやつらいこと、すべてが音楽なのです。

私たちの国チェコの歴史は、それはつらく悲しいことが多いものでした。常に周囲の国に侵され続け、占領されることもしばしばでした。おかしな政権が支配したこともありました。しかしチェコ人はいつも希望を失わず、ゆかいに立ち直り、立ち上がり、そして平和な方法で立ち向かいました。それがチェコの音楽でした。スメタナをはじめ、ドヴォルジャークやマーラー、ヤナーチェクがそうです。(マーラーはボヘミア生まれのユダヤ人、チェコではチェコの作曲家と認識されています・石森)

チェコに限らず、こうしてできた音楽の作曲家の精神を、私たち演奏家がどうしてないがしろにできません。そして私たち自身の中にある何かを感じる心を、演奏するにあたって、もっともっと大切にしてください。これはソロで吹くときもオーケストラで吹くときも、まったく同じことです。

音楽はいつでも自由でなければなりません。だから、みなさんや私の生徒にこのレガート奏法を強制するわけにはいきません。ただ、美しい音楽を奏でるために、常により美しい方法を探し求めていただきたいと思います。

人生は楽しいものです。どんなことがあっても、ほがらかに、冗談を言って笑って立ち上がり、トロンボーンを片手に、ゆかいに音楽を語っていきましょう!!!

“いつもだめだこりゃジョーダン” イジー・鬨さんより

#### ●おわりに

いやいや、はじめは、はずかしいなあ、なに書こっかな～、なんて思っていました、思いのほか長くなっちゃって申し訳ないです。最後まで読んでくれた方、ごころうさまでした。

ナゾの国チェコも、少しは名誉挽回できたことを期待していますが、えらそうなこといって私自身ももっと上手にならねばと、さらにやる気を出さざるをえませんでした。

今年の秋には鬨さんも、チェコ・フィルの日本公演で来日します。鬨さんはいつでも、本当に楽しそうにトロンボーンを吹いています。私はチェコ・フィルのまわし者じゃありませんが、ぜひ、聴きに行ってみてください。

最後になりましたが、この記事を依頼していただき、私にチェコを紹介する機会を作ってくださった村田厚生さんに、この場を借りて心から感謝いたします。ありがとうございました。

石森尚子。



## What's ドイツ管 萩谷 克己

ドイツ管ファンの皆様ご無沙汰してます。  
さてさて、ドイツ管を実用にするに当たっての注意、コツ  
というものを書いてみましょう。  
「ドイツ管にはやはりドイツ製のマウスピースでないとダメ  
なんでしょうか？」  
「ドイツ管はドイツ管でないと音が合わないんでしょ  
うか？」  
「吹奏楽にドイツ管は合うんでしょうか？」  
「やはりドイツ管は音が違いますね？」  
「こんなきついプログラムをレッチェでよく持ちますね？」  
これらは全て僕が実際に受けた質問の数々です。  
僕はいつも同じ答えをします。  
「マウスピースは口に合うことが一番です。好きなマウス  
ピースを使えば良いと思います。マウスピースが合わない  
としたら、シヤックがびったりと合っていない事が考えら  
れます。そこをびったりと合うように調整すれば大抵大丈夫  
です。」  
「少なくとも僕が東京佼成ウィンドオーケストラでエキス  
トラを頼む時は楽器のメーカーを意識した事はありません。  
何管でもトロンボーンはトロンボーンです。ホルンと  
チューバとハーモニーを作る金管五重奏よりずっと楽で  
す。」  
「僕が吹奏楽で使っているのは音を出す量が極端に多い、  
吹奏楽という現場で楽に演奏出来る事が大きな理由の一つ  
です。」

僕の東京佼成ウィンドオーケストラに入ってから楽器遍  
歴を紹介しましょう。

BACH 42B  
YAMAHA YSL-842  
BACH 42B&16 (ポップスでの持ち替え)  
BACH 36B with 8 1/2ベル (テストのみ)  
YAMAHA YSL-852  
Scherzer (Pror. Alois Bambla  
所有の物を借用)  
レッチェ、クルスベ

この遍歴を見て分かるように、最初は一般的な太管でし  
た。豊かな響き、使い勝手の良さなど、勉強、独奏楽器と  
しての魅力のある楽器でしたが、吹奏楽をプロの現場でア  
シスタント無しで約2時間のコンサートで吹ききること、  
チューバ、ユーホニウムがそれぞれ2本という、中、低  
音の充実した環境で明確な発音をするには太管では重すぎ  
ました。太管一中細の中で試行錯誤を繰り返した結果、細  
管に大型のシンフォニータイプのベルが付き、かつ反応が  
速くクオリティの高いレッチェに落ち着いたという訳で

す。皆さん、東京佼成ウィンドオーケストラが全員レッ  
チェにしてからもう10年以上になる事をご存知でした  
か？



私達の演奏は多分日本でトロンボーンを始めたばかりの人  
が一番一般的に耳にするのではないのでしょうか？言ってみ  
れば日本で一番一般的に聞けるトロンボーンの声がレッ  
チェであるわけです。中高生の皆さんは僕達の声がドイツ  
製の楽器から出ているなんて考えた事もないと思います。  
なんと、課題曲、コンクール自由曲集、ニューサウンズ・  
イン・プラスなど250枚を超えるCDの半分以上をレッ  
チェで吹いていたのです。という訳で

### 【ここで問題です！】

僕が今まで録音してきたCDでどの演奏を何の楽器で吹い  
ていたか当ててください！！

(次の数字とアルファベットを結びつけてください)

- 1: セレブレーション KIOCD-3571にある「セレブレーション」のセクション
- 2: ミステリー HCD-1248 にある「センチになって」  
「ディキシー・オン・パレード」の中のソロ
- 3: 巴里の空の下 Alfa 32XA-101にある「待ちましょ  
う」のソロ
- 4: 大草原の小さな家 32DH 535にある  
「大草原の小さな家」のソロ
- 5: リンドバーク ウインドパワー  
BIS CD-848 の伴奏トロンボーン・セクション



- 6: コラ・フルニヨンK O C D-3 0 7 4 のセクション  
 7: ホルスト第1組曲K O C D-3 5 0 3 のセクション  
 8: 星条旗よ永遠なれ K 3 3 Y 1 1 3 のセクション  
 9: メキシコの祭り: K O C D-2 8 1 4 のセクション

- A: 全員ヤマハ・カスタム  
 B: レッチェ  
 C: レッチェ×3のセクション  
 D: BACH 4 2 B + CONN 8 8 H + Reynolds  
 E: BACH 4 2 B  
 F: クルスベ+レッチェ+レッチェ  
 G: BACH 4 2 B  
 H: BACH 1 6 + CONN 8 8 H + Reynolds  
 I: Schertzer (Prof. Alois Bambula 所有のを借用) + CONN 8 8 H + Reynolds

誰にでもこだわりがありますが、僕が得た結論から言うと、  
 「何を使っても自分の音しか出ない。」  
 「誰でも好きな楽器を使う権利がある」  
 というものです。音大生、受験生には迷わず太管のテナー・バスを動めています。  
 さて、具体的にドイツ管を手に入れたいと思ったらいくつかの注意点があります。

- 1: 二度と同じ物はない。惚れたら即決!
- 2: 製作者の名前よりも吹いた時の自分の感触、さらに見た目で決める。(見て惚れこんだ楽器に間違いは無い!)

という事です。楽器がなかなか入手できない時には準備の為にドイツ管に近い感触の楽器を吹くという手があります。比較的に安価で吹奏感がドイツ管に近いものは  
 1: ヤマハ、インベリアル・モデル (テナー・バスが素晴らしい!)

名器と言っても良い優秀な楽器です。デュアル・ボアと反応の早さはレッチェに近いものがあります。

- 2: カワイ、テナー・バス  
 真正正銘ドイツ製 (B&S) です。デュアル・ボアではないし、一見アメリカンですが、吹奏感はドイツ管、それもクルスベ、フォークトに近い感触です。

- 3: コーン5 2 H  
 大型ベル、中細管、デュアル・ボアでかなりドイツ管 (クルスベ、フォークト) に近い感触です。

- 4: バック 1 6  
 レッチェの WEITE II に近いサイズのデュアル・ボアです。ポップス持ち替えのために一本持っていて良い楽器です。

僕がテストしたのは以上の機種です。他にあったら誰か教えてください。

注文を出す時にはボアサイズに注意して下さい。大抵5

種類のボア・サイズが用意されています。ちなみに有名なドムス教授はレッチェの WEITE II です。

では皆さんドイツ管講座をこれで終了いたします。独断と偏見で申し訳ありませんでした。たまには東京佼成ウインドオーケストラを生で聴いてください。レッチェサウンドの炸裂を聴く事が出来ます!!

↓ 正解は下にあります ↓

萩谷克己

## 会報編集部より

この会報は日本トロンボーン協会の主旨に添い、内外のトロンボーン奏者、トロンボーン愛好家、音楽ファンを応援すべく発行されています。

会員の皆様の中で会報制作に参加してみたいと思われる方は村上まで御一報下さい。また、構報・質問等もお寄せ下さい。お待ちしております。

### 会報編集担当

村上 準一郎 TEL&FAX 03-3484-8577

E-Mail: jat@viola.ocn.ne.jp

HomePage: <http://www3.ocn.ne.jp/~jat>

事務局からのお願い

## 住所変更?

## 結婚・転勤・などなど

された方はお知らせ下さい。

TEL: 03-3943-6677

FAX: 03-3943-6659

正解

1=F, 2=B, 3=E or G, 4=E or G, 5=C, 6=D, 7=A, 8=H, 9=I

# INFORMATION

## 最強の金管セクションを誇るシカゴ響のブラス・アンサンブル、 シカゴ響ブラスクインテット

The Chicago Symphony Orchestra Brass Quintet

ジョン・ハグストロム(Tp) / マーク・ライデノー(Tp) / オット・カリーロ(Hrn)

マイケル・マルケイ(Tb) / ジーン・ポコーニー(Tub)

▼チケット取扱・お問合せ：プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677 (チケット郵送サービス有)

※詳細は各ホールまたはプロアルテにお問い合わせください。

※トリオ券はプロアルテのみで取り扱います。

▼主催：プロ アルテ ムジケ

Program (曲目は一部変更の可能性があります。)

P.ヘンデル (レイノルズ編曲) : 楽曲第 10 番 M.アーノルド : 金管五重奏曲 G.マーラー : 美しいトランペットが  
鳴り響くところ J.ステイヴンス : 四季 G.ガーシュイン (ガール編) : ポーギーとベスジャズ・ピース/ザッツ・ア・  
ブレンティ、ポピン・アンド・ウィーヴィン、茶色の小瓶、センチになって

### 全国公演日程

6月6日(水) 文京シビックホール

6月7日(木) 尼ヶ崎市アルカニックホール

6月9日(土) 姫路市文化センター

6月10日(日) 秋田県アトリオン音楽ホール

6月11日(月) 茨城県立県民文化センター

6月13日(水) (名古屋) 電気文化会館コンサートホール

6月14日(木) 聖徳学園大学(学校公演のためクローズ)

6月15日(金) 盛岡市都南文化会館(キャラホール)

パッサハからコンテンツボラリーへ 山本浩一郎 トロンボーン 白石 光隆 ピアノ

2001年6月19日【火】 19:00pm 開演 全席自由 3000円 東京オペラシティーリサイタルホール

曲目：シンフォニア ヘ長調/ベルゴレーシ 無伴奏チェロ組曲ニ短調から/J.S.パッサハ コラール・カデンツァとフーガ/H.デュ  
ティエーユトロンボーンとピアノのためのソナタ/J. フィラシュ 委嘱新作(世界初演)/村田鑑一

トロンボーンとピアノのためのソナタ/ヒンデミット・・・他

●チケット 東京オペラシティーチケットセンター03-5353-9999 チケットびあ03-5237-9999

ONプレイガイド03-5802-9990 ●お問い合わせ(財)東京オペラシティー文化財団03-5353-0770

我々はトロンボーンのアンサンブルではない！音楽の本質をあわわすカルテットなのだ。

### ウィーントロンボーン四重奏団

ディートマル・キューベルベック/オトマル・ガイスヴィンクラー/エリック・ハインツル/ハンス・シュトレッカー

曲目：第2カンツォーナ/G. ガブリエリ フーガの技法よりコントラプンクトゥス第4番/J. S. パッサハ

協奏曲/A. ヴィヴァルディ くるみ割り人形より/チャイコフスキー・・・他

2001年7月17日【火】 7:00pm開演(6:30pm開場)

京都府府民ホール アルティ 全席自由 一般3500円 学生2000円 ●チケットびあ06-6363-9999

2001年7月18日【水】 7:00pm開演(6:30pm開場)

ザ・カレッジ・オペラハウス 全席自由 一般3500円 学生2000円 ●大阪音楽大学チケットOCM 06-6334-2242

2001年7月19日【木】 7:00pm開演(6:30pm開場)

北とびあ さくらホール 全席自由 一般3500円 学生2500円 ●チケットびあ03-5237-9990

主催/お問い合わせ：プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677